

衆議院財務金融委員会ニュース

H28.5.18 第190回国会第18号

5月18日（水）、第18回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 木内孝胤君（民進）（理事木内孝胤君去る5月10日委員辞任につきその補欠）

2 民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律案（山本ともひろ君外3名提出、衆法第43号）

- ・提出者山本ともひろ君（自民）から提案理由の説明を聴取しました。
- ・提出者岸本周平君（民進）、山本ともひろ君（自民）、上田勇君（公明）及び丸山穂高君（おおさか）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

古川元久君（民進）

- ・民間公益活動を促進するために活用するとは言え、休眠預金は預金者の財産であり、預金者の財産権を侵害するとの懸念についての提出者の考えを伺いたい。
- ・休眠預金が発生しないようにするための広報の在り方について提出者に伺いたい。
- ・休眠預金を国庫に納める国もある中で、本法律案のスキームで民間公益活動に活用することとした理由について提出者に伺いたい。

宮本徹君（共産）

- ・アンケートの結果等から、本法律案及びその趣旨や仕組みについて国民の理解が十分に進んでいると言えるのか。
- ・いわゆるNPO法では20の活動分野があるのに対し、休眠預金の活用先である助成団体の活動分野を主に3つの分野に限定していることについて、国民のコンセンサスが得られていないのではないか。
- ・本法律案では、利益相反を防ぐ規定がなく、法律上休眠預金等活用審議会の委員や、指定活用団体の役職員の就任の要件として助成先等の関係者が除外されない等の問題があるが、利益相反を排除する規定を設けるべきではないか。